



地域の幸せのために
“住まい”を中心に
多角的に事業を拡大

「小さな幸せを集める」をスローガンに「鳥取で一番、鳥取の人々を幸せにする」ための環境づくりを目指す「ヤマタグループ」は、1971年に住宅修繕の会社として鳥取市内で産声を上げた。現在、住宅事業を軸にした多角的な展開で、層の厚いグループ会社を構成する。

住宅・不動産事業の「株式会社ヤマタホールディングス」は住宅ブランドの「フローバー住工房」や「soullact」のほか、不動産の仲介を専門とする「やまた不動産Labo」などを展開。「株式会社モア・コンフォート」はカフェ兼雑貨・家具販売の「moco lifestyle store」や、新たにスタートしたレンタルスペース「とっとりマチベーションビル」の運営を担う。「株式会社社ヤマタライフサポート」は住宅のメンテナンスや生活全般のサービスを扱う「なんでもやまた」と、リフォーム事業の「ヤマタのリフォーム」を運営。リフォーム事業ではグループ会社の「有限会社コナン住建」が施工力を発揮する。さらに、アウトドア事業・宿泊事業にも新規参入し、

2023年5月「株式会社ヤマタ鳥

ヤマタグループ

あふれる可能性と
ともに進む、ヤマタ。

取砂丘ステーション」を設立。運営する24年4月オープン予定の「ヤマタ鳥取砂丘ステーション」は新しい観光拠点として期待を集めている。これらのグループ会社を統括し、円滑な組織運営を担うのが「ヤマタホールディングス株式会社」だ。「家に関する要望には何でも応えたいと、今日まで事業を拡大してきました」と穏やかな口調で語るのはヤマタホールディングス代表取締役の山田雄作氏だ。創業者である父・山田建雄氏から会社を受け継ぎ、父のモットーである「正直な商売」を大切に守りながらグループの急成長を導いてきた。「嘘や我慢の商売は、たとえ成功したとしても長続きはしないでしょう。会社の規模にかかわらず、エンドユーザーが喜ばない商売は成り立ちません」と説く。その言葉の通り、ヤマタグループは地域のお客様と真摯に向き合い、ニーズに応える形で事業を拡大してきた。今年、米子市内にmocoとやまた不動産Laboの一体型の新店舗をオープン。また、鳥取市内の空きビルを活用したレンタルスペースの「とっとりマチベーションビル」もスタートした。「地域に支えられているからこそ、幅広く貢献したいです」と地域への愛情は深い。ヤマタホールディングスが中心となり、親



moco米子店に併設する《やまた不動産Labo米子店》。土地売買や中古物件、賃貸など不動産全般に対応し、《クローバー住工房米子店》とも連携する。隣にmocoがあるので、女性一人でも気軽に入りやすく、mocoで新しい家に置く家具を選んだり、相談したりすることもできる

《クローバー住工房》は、2015年以降、鳥取市で着工棟数1位を連続して記録。2021年には《クローバー住工房米子店》がオープンし、米子市にも進出を果たした。

同店舗の順調な業績を追い風に、今年9月、米子市東福原にオープンしたのがmocoとやまた不動産Laboの一体型店舗だ。「鳥取市のmocoとの差別化を図り、米子店ではインテリアを強化してテイストや展示を変えています。ナチュ

ラルな雰囲気鳥取店と異なり、米子店はモノトーンを基調にしたスタイリッシュな雰囲気です」と話すのは、《moco lifestyle store米子店》の眞田智子さん。

鳥取店で3年半、家具や雑貨、アパレル販売をメインで担当し、その経験を生かして米子店では店長代理を務める。鳥取店はカフェメインの店づくりなのに対して、米子店はカフェもあるが、インテリアや雑貨がメインだ。「新しい場所で挑戦できるこ

とにワクワクしています。お客様とのふれあいを大切に、有意義な時間を過ごせるような店づくりをしていきたいです」とはつらつと笑う。

グループの各店舗は相互の連携が活発だ。米子エリアでもインテリア・不動産・住宅建築で連携を図る。「不動産からカフェに立ち寄っていただく、物件の購入後に家具の相談を受けたりすることも今後増えると思います」と眞田さん。その言葉を受けて、《やまた不動産Labo米子店》店長代理の信田将大さんも「やまた不動産Laboのコンセプトは『女性一人でも入りやすいお店。不動産屋は女性一人ではハードルが高いかもしれませんが、mocoがあることで入りやすくなります』と一体型店舗の利点を語る。

信田さんは米子市出身・在住。《やまた不動産Labo鳥取店》で3年半、不動産営業に携わり、米子店のオープンにより地元勤務になった。「不動産は一生に一度、あるかないかの大きな買い物。担当したお客様に『あなたで良かった』と喜んでもらえるのが本当に嬉しいです」と話し、お客様とのつながりを大切にしている。地元の米子でも「土地探しから中古・分譲住宅の購入、賃貸物件など何でも気軽に相談できるお店にしたいです」と意欲を燃やす。



身近なテーマで楽しく学ぶ親子の金融教育

昨年始まった《鳥取キッズマネースクールやまた校》は、月1回、4～10歳の親子を対象に2時間の授業を開催。「住宅という高額商品を扱う会社として地域の力になりたい」と講師の宮谷由佳チーフマネージャー。お小遣いの始め方、お店屋さんごっこを通じたお金の大切さなどを伝えている。



DX推進のノウハウを地元企業向けに伝授

DX推進し、成果を上げているヤマタグループ。昨年は地元企業が対象の《DX学校ヤマタ鳥取校》を開校。全12回の授業で、自社課題と向き合いDX戦略を組み立てる。担当の関 力仁マネージャーは「働きやすい中小企業づくりのご支援を通して鳥取の暮らしやすさに貢献したい」と意気込む。



鳥取市の若桜街道商店街の一角に建つ《とっとりマチベーションビル》。道路を挟んで向かいに旧鳥取市役所跡地があり、鳥取県庁などの公共施設にも近い好立地

これまで、住まい、を核に事業を展開してきたヤマタグループにとって、《ヤマタ鳥取砂丘ステーション》のアウトドア事業・宿泊事業への進出は新たな挑戦と言える。

ヤマタ鳥取砂丘ステーションは、

「従来、砂丘観光の後は市外で宿泊するケースが多かったのですが、この施設のオープンにより滞在型観光が可能になります。キャンプ、グランピング、宿泊施設を備えることで幅広い客層を受け入れることがで

鳥取砂丘西側エリアに観光の拠点を創出

子の金融教室として《鳥取キッズマネースクールやまた校》を開校して定期的に教室を開催したり、《DX学校ヤマタ鳥取校》では自社のDX推進の取り組みを生かして地域の中小企業向けDX講座を開いたり、昨年だけでもさまざまな地域貢献の活動がスタートした。社員もまたこうした取り組みに対して「地域の役に立ちたい」と講師を務めるなど、積極的に手を挙げる。

鳥取砂丘西側エリアにあった鳥取県と鳥取市が保有するキャンプ場やサイクリングターミナルの計3施設を一体的に活用し、新たな観光拠点を創出する一大プロジェクトだ。昨年5月に公募型プロポーザルによってヤマタグループが運営事業の優先交渉権を獲得し、同7月に鳥取県・鳥取市と基本協定を締結。ヤマタホールディングスと、リゾートグランピングを手がける大阪府の会社が協働で、キャンプ場、グランピング施設、宿泊施設の3タイプを備えた施設としてリニューアルする。

き、地域を代表する観光地として活性化に貢献したいです」と山田代表の言葉に熱が入る。「ステーション」には「滞在（ステイ）+基地（ステーション）」の意味が込められている。鳥取砂丘周辺は急ピッチで再開発が進むエリア。ヤマタグループが培ってきた建築業やサービス業のノウハウと、協力会社のグランピング事業のノウハウを結集し、周辺施設とも連携して活性化を目指す。

市街地の空きビルをレンタルスペースに

ていきたいのです。また、地域貢献の活動が社員の誇りとなり、モチベーションも上がると考えています」と胸の内を語る。

鳥取市中部の若桜街道沿いにある空きビルを活用した、レンタルスペース《とっとりマチベーションビル》もまた「地域を盛り上げたい」という思いを形にしたものだ。不動産事業から派生して、「まちの賑わいづくり」をテーマにレンタルオフィスやコワーキングスペース、飲食店のスタートアップ支援など、さまざまな利用を想定している。

重なり表立った活動はしていなかった。しかし旧鳥取市役所跡地という好立地を活かし、いよいよ地域の活性化を目指して事業が本格化する。昨年、4年ぶりに市街地で開催された《鳥取しゃんしゃん祭り》では、ビルの窓をスクリーンに見立ててプロジェクトマップを展示。まちづくりの新しい拠点として、市民が待ち望んだ祭りの復活を盛り上げた。

好調な業績を背景に米子に新店舗オープン

新規事業と並行して、既存の事業も勢いが止まらない。2008年に鳥取市内に1号店をオープンした





ヤマタグループ

事業内容

新築住宅事業、不動産事業、アパート建築、リフォーム事業、カフェ運営 他

創業 昭和59年(1984)年9月17日

代表者 代表取締役 山田 雄作

社員数 124名(男70名 女54名)

本社 鳥取県鳥取市千代水2-130

電話 0857-30-0006

採用エリア(勤務地)

鳥取市、倉吉市、米子市

採用担当者からあなたへ

ヤマタグループは「鳥取が一番、鳥取の人々を幸せにする」ことをビジョンとして掲げ、多角的に事業展開をしています。今年新たにグランピング事業に参入するなど、毎年のように新しいことに挑戦している会社です！
 いろんな角度から鳥取の人々を幸せにするべく邁進中です。



総務・HRユニット
小松 朱里さん

資料請求・お問い合わせ先

採用直通 TEL

0857-30-0006

採用直通 E-mail

recruit@yamata.co.jp

公式サイトはこちら



求人サイトはこちら



動画サイトはこちら



1 社員と山田代表も参加した鳥取しゃんしゃん祭りの《ヤマタ連》 2 セタイイベント《ハビネスツリー大作戦》では、社員が小さな幸せエピソードを短冊につづった 3 山陰両県の小学5・6年生が対象の1日職業体験《さんいん未来キャズプロジェクト》で、ヤマタグループは大工体験を実施

社員の幸せのために働きやすさを追求

理念にある「鳥取の人々」は社員も含まれる。グループでは、福利厚生や充実した環境整備委員会を設置して働きやすい環境づくりに注力。同委員会の啓発活動で社内環境が整理整頓され、生産性の向上にもつながった。

また社員間の交流も盛んだ。「ヤマタスポーツパーク（鳥取県立布勢総合運動公園）」での社内運動会には約100名が参加して親睦を深め、昨年の鳥取しゃんしゃん祭りに、社員の提案で約30名が《ヤマタ連》を組んで初参加。祭りでは施主様から声援が送られ、地域とのつながりを再認識する機会にもなった。こうしたイベントの折々に若手社員

の活躍の場を設けているのもヤマタグループの特色だ。内定者研修に始まり、入社後は社内報作成やジョブローテーション、運動会の運営参加、そして《ヤマタグロウキャンパ(YGC)》では若手社員が企画・運営を担い、23年度はヤマタ鳥取砂丘ステーションのオープニングイベントを任せた。「新しい挑戦が待っている会社ですから、自分の限界を決めずにチャレンジしてほしい」と山田代表は若い世代に期待する。

地域の幸せをコソッと集め、常に新しい目標に向けて邁進してきた。1次に目指すのは、100億円企業。良い意味で発言力・影響力を持ち、地域や社会の発展に貢献していきたいです」という言葉には確かな自信と、社員や地域への深い愛情がにじむ。

メキメキ成長する新入社員たち



ヤマタライフサポート
工務
奥谷 佑己さん(24)

転職して成長を実感
知識をさらに身に付けたいです

同業他社からの転職ですが、ヤマタは鳥取県東部で新築棟数のトップを争う勢いのある会社として知っていました。入社後の研修では、仕事に対する意識や考え方、今後についてしっかり考える機会や経験を与えてもらい、内面の変化を感じています。現在はリフォーム現場の現場管理や部材発注などを担当していますが、臨機応変な対応が求められるので、知識を身に付けるためにも宅建士の資格取得を目指しています。



ヤマタホーム
やまた不動産Labo 鳥取店
井上 凌さん(23)

失敗を学びに変えて
不動産営業として成長したい

不動産売買はお客様にとって一生に一度の大きな決断の場面。そこに立ち会える営業マンに憧れると同時に、社会人として成長したいとこの業界に挑戦しました。入社して一から不動産のことを学び、先輩方の指導のおかげで営業デビューすることができ、現在は不動産の売買・賃貸の仲介が主な業務です。時には失敗もありますが、そこから学ぶことは多く、何より上司や同僚にこれ以上ないほど恵まれています。



ヤマタホーム
クローバー住工房米子店
稲脇 季沙さん(23)

理想の家づくりに伴走する
インテリアコーディネーター

子どもの頃からインテリアコーディネーターに憧れて入社。建築関係の学校出身ではないので、経験や知識を増やすために積極的にセミナーに参加し、センスの良いカフェやレストラン、美術館などを巡って勉強しています。現在はお客様と内装の打ち合わせなどを担当していますが、仲良くなれた瞬間がとてもうれしいです。理想の家づくりに向けて大変なことも多いですが、完成した家を見た時のやりがいは大きいです。



ヤマタホーム
技術部 工務課
金谷 颯太さん(23)

知識や経験を重ね、
資格取得を目指しています！

大学で建築関係を学び、就職活動の中で鳥取に密着した大きな工務店だということを知りました。現在は先輩社員と一緒に現場を回り、発注などを行っています。現場では職人さんの話についていけないこともあり、知識や経験を身に付けていきたいです。先輩方は「わからんことは聞けばいい」と困った時はすぐに相談できる頼もしい存在。建築士や施工管理技士の資格を取得し、先輩たちのように活躍したいです。



ヤマタホールディングス
経営支援
王 静海さん(25)

人の役に立つ仕事だから、
やりがいは大きいです

経営支援室での現在の私の仕事は、実行予算の作成や情報収集。知らないことばかりですが、先輩たちはとても丁寧に教えてくださり、「自分の仕事は人の役に立つんだ」と思うとやりがいは大きいです。覚えることがたくさんありますが、「大変＝大きな変化が来ること」ですから、大変さを乗り越えることで自分自身のレベルアップにつながると信じています。早く仕事を任せてもらえる段階まで成長したいです。



ヤマタホーム
技術部 設計
小島 樹梨さん(21)

夢は自分の設計で
たくさんの人を喜ばせること！

小さい頃からものづくりが好きで、「自分がつくったものでたくさんの人を喜ばせたい」と建築の仕事に興味を持ち、ヤマタのビジョンとも重なり入社を決意。現在は先輩に教わりながら図面の作成や修正、現地調査、測量、社内検査などを行っています。「どんな仕事も考えたり、試行錯誤したりすることで、楽しさや成長につながる」という先輩の言葉を胸に、できることが増えていくことに面白さを感じています。



ヤマタホールディングス
総務・HRユニット
東口 楓さん(21)

慣れない仕事も先輩が
サポートしてくれます！

高校の体験入学をきっかけに建築系に興味を持ち、短大の企業バスツアーでヤマタグループを知りました。クローバー住工房は知っていましたが、「こんなに多くの事業を展開しているなんて」と驚かされました。現在は採用担当として、会社説明や資料作成などに従事していますが、まだまだわからないことだらけ。でも先輩たちが「できなくても大丈夫」と明るくサポートしてくださるので、励まされています。



ヤマタホーム
クローバー住工房鳥取店
濱田 創史さん(23)

活気のある会社で
刺激を受ける毎日です

大学在学中に建築に触れる機会があり、就職活動でこの業界に興味を持ちました。ヤマタグループは就職説明会などでも活気のある会社という印象でしたが、入社後も印象は変わりません。部署を越えて交流があり、皆さんの仕事熱心でオン・オフのメリハリある働き方を見て、刺激を受ける毎日です。建築の知識や営業についてさまざまなことを勉強する毎日ですが、自分の引き出しが増えていくことに喜びを感じます。